

9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4

JAPAN

初冬 十月更名
初冬歲 初冬時雨
初冬氣 初冬晦
山中初冬 海島初冬
初冬備乾 初冬歲寒
同時雨 夕時雨
曉時雨 胡時雨
時雨頻 時雨向東
時雨急 時雨晴
時雨風 時雨頻
山中雨 雨山雨

時雨連山 岐時雨 蘆芽雨 圓時雨 山後雨
愁絃時雨 離時雨 雷經雨 拙高雨 名氣雨
湖邊雨 破時雨 川雨 渡雨 驚舟雨
樹陰時雨 杜風雨 桂雨 桂時雨 山前雨
雨居時雨 菖蒲雨 金雨 固雨 以絳雨
蕙雨時雨 五色雨 寒雨 田袁雨 蘆中雨
旅宿雨 霧雨 時雨混氣雨 時雨似淚雨 蘆中雨
烹寫時雨 湖雨人雨 時雨人雨 時雨落人雨 十月紅葉
殘紅葉 烟波紅葉 紅葉滿枝 紅葉林枝 源山生枝
水落葉 花院紅葉 紅葉滿夜 紅葉發
落葉自然 楠葉自然 落葉之辭 紅葉葉

夜中落葉 啼竹落葉 細落葉 爲葉破秋 爲葉脆
落葉深 爲葉子泊 爲葉如絲 爲葉之宿風 落葉終風
落葉風 圖前落葉 爲葉子泊 爲葉如絲
雨中落葉 爲葉子泊雨 爲葉混雨 胡落葉
葉落葉 啼落葉 月四落葉 自前落葉 小落葉
心中落葉 家落葉 摟落葉 爲葉落葉 楠落葉
紫落葉 河上落葉 紫落葉 水落葉 楠落葉
落葉深淺 滴落葉 涴落葉 水落葉 楠落葉
湖上落葉 滴落葉 涪落葉 水落葉 楠落葉
桂落葉 桂落葉 桂落葉 桂落葉 楠落葉
落葉落葉 以落葉落葉 純落葉 楠落葉
落葉落葉 故落葉落葉 落葉落葉 楠落葉

杜萬紫 庭上萬紫 萬紫萬紫 不在萬紫 松弓萬紫
松下萬紫 東山萬紫 遠在萬紫 萬紫萬紫 不在萬紫
社頭萬紫 高柳枝萬紫 木立了の柳の枝 萬紫萬紫 在萬紫
殿殿萬紫 殘葉萬紫 残葉萬紫 孤葉萬紫 萬紫萬紫
雨中萬紫 雨中萬紫 周熙萬紫 山家萬紫 萬紫萬紫
惜孤葉 奇孤葉迷怪霜 奇孤葉迷怪霜
夕霜 哭萬紫 淚痕萬紫 楊上萬紫 山家萬紫
愁孤葉 杏萬紫 聖和萬紫 草萬紫 萬紫萬紫
萬紫萬紫 圖萬紫 原萬紫 田萬紫 萬紫萬紫
松上萬紫 紫上萬紫 夜萬紫 素娥萬紫 山家萬紫
用萬紫 社頭萬紫 素夜萬紫 人沿板橋萬紫 奇萬紫迷怪
萬紫萬紫 素夜萬紫 人沿板橋萬紫 奇萬紫迷怪
冰 水結冰 落水 冰滿
厚冰 胡冰 池冰 沙冰作繩
河上冰 泌冰 萬葉冰 沙水岸冰
冰滿池上 井冰 魚樞冰 萬葉冰
江冰 江水初冰 河冰 浮冰
渾冰 潤冰 壓冰 行冰
山家冰 水用細流 水圓冰 水圓冰
冬田冰 田急冰 壓冰 水圓冰
殘雁 嘴孤雁 水圓冰 水圓冰
寒字凍 寒字少 水圓冰 水圓冰
豐經草 原寒草 原寒草 豐經草

雨夜草

寒夜草

寒夜风

霜夜草

寒夜雪迷晓

寒夜

寒夜雨

寒夜

霜夜草

寒夜雪迷晓

後寒草

紅寒草

寒夜滿江

寒夜草

後寒草

苦花似畫

本枯

瘦本枯

山家本枯

後寒草

椎葉崑

山綠望

枯堅

枯堅

椎葉

枯堅蘚

枯堅鵝

枯堅

枯堅

枯堅

枯堅松

枯堅風

枯堅

枯堅

枯堅

寒夜松

寒夜松

寒夜松

寒夜松

寒夜松

曉寒自

寒曉自

寒曉自

寒曉自

寒曉自

寒夜月

寒月

寒月

寒月

寒月

海冬月

湖上冬月

水冷冬月

寒月

寒月浮水

寒流等月

寒流等月

寒月

寒夜月

故月

破月

寒月

寒夜

寒夜

寒夜

寒夜

柏裏

竹裏

竹間裏

寒夜裏

寒夜

海色裏

湖色裏

山家裏

寒夜裏

痕裏

寒痕裏

寒痕裏

寒夜裏

夕色裏

寒夕色裏

寒夕色裏

寒夜裏

子夜輕眼

宿夜輕眼

宿夜輕眼

寒夜裏

雪滿高根 雪滿智山 名山雪 山源雪 足柄山雪
豐雪 原上雪 独經雪 豐喜雪 松雪
山源雪 慈源雪 圓雪 寒源雪滿 寒路胡雪
足柄夏雪 紅源源雪 雪提滿 旗木雪 雪舟旗
馬上雪 車中雪 烏雪 永上雪 川雪
滿道雪 海道松雪 烏雪 流道雪
沙道雪 古渡雪 猶雪 沖道雪
市雪 市中雪 級雪 沈道雪
山報見雪 雨居雪 山家雪 沈度雪
底雪原人 底雪似月 因家雪 敦雪
葉底雪

葉底雪 故風雪 茄口雪原 彩頭雪 神彩雪
古寺雪 雪矛古雪 杜雪 松前雪 山樹雪原
歲樹雪原 雪矛樹 樹頭雪 雪堤雪原 遠村雪
松上雪 松雪源 雪堤松樹 枫松上雪 雪作松梅花
雪雪萬松 松雪 茄口雪 常綠本雪 竹雪
竹雪深 雪堤所 雪滿哀 雪矛遊興 一言一恥雪
雪底恥雪 一言一恥雪 一言一恥雪
雪峰遠情 雪中惡人 雪中絶發 依雪給人 雪氣空樹
言中給人 言中詩人 言中絶人 言中給友 雪胡空村
雪中待春 走人精雪 一言一恥傷心 雪上淺源 雪中歎
雪中急 雪與拂雪 雪中解 一言一恥解

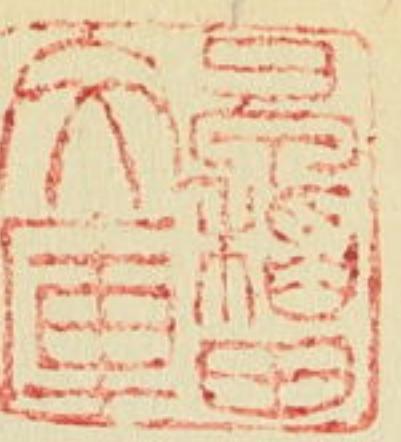
立雪歸思 雪中迷眼 立雪祝
宿鴉 大雪狩 無宿鴉
宿鴉欲禽 宿鴉得日禽 互宿鴉
鶴鳴風 鴉鳴禽 舊宿鴉
歲寢窓 宿寢雲 岁寢雪
歲寢窓 宿寢窓 岁寢
歲寢窓 岁寢窓 岁寢
聞煙火 燭火 向煙火
燭火之寒流 燭火似春 山斷煙火
冬至 烟以歲去 古前
荷箭使 貞詞 新歲會
禁中神樂 天神樂 夜神樂
禁中神樂 天神樂 仁名
禁中神樂 天神樂 寒中佛名
仁名夜寒 佛名對寢 仁名祖
雪中梅花 雪中早梅 楊雪
年內早梅 年內早梅 里早梅
年外早梅 年外早梅 里外梅
早梅 幸早梅 幸早梅 悔早梅
幸早梅 傷早梅 幸早梅 慕早梅
宋早梅 寒中宋早梅 幸早梅
宋早梅 喻早梅 海魚宋早梅
市早梅 市早梅 困中宋早梅
歲山早梅 岁山早梅 乾山早梅
老傷早梅 老傷早梅 老人傷早
老送來 老傷早梅 老人傷早

了九日
上山行
春遊
同子百草書
春遊
春遊
雪中除夜
冬天象
冬遊
冬曉
冬暮
冬夜
冬山
冬樹
冬池
冬水
冬水
冬田
山家冬夜
冬庭
冬植
冬禽
冬族
冬曉
冬祝
十月
橘小河
同子百草書
生神原

春遊訪友
春遊述懷
春遊神祇
春遊祝
同子百草書待春
信花待春
老枝待春
旅寓待春
春既下薄
除夜
尋除夜
舟中除夜
追憶
冬天星
冬星
冬日
冬月
冬雲
冬雨
冬曉
冬晴
冬夜
冬山
冬樹
冬池
冬海
冬曉
冬暮
冬夜
冬山
冬樹
冬水
冬水
冬田
山家冬夜
冬庭
冬植
冬禽
冬族
冬曉
冬祝
同子百草書
生神原

春遊
春既下薄
除夜
尋除夜
舟中除夜
追憶
冬天象
冬星
冬日
冬月
冬雲
冬雨
冬曉
冬晴
冬夜
冬山
冬樹
冬池
冬海
冬曉
冬暮
冬夜
冬山
冬樹
冬水
冬水
冬田
山家冬夜
冬庭
冬植
冬禽
冬族
冬曉
冬祝
同子百草書
生神原

信花待春
老枝待春
旅寓待春
春既下薄
除夜
尋除夜
舟中除夜
追憶
冬天星
冬星
冬日
冬月
冬雲
冬雨
冬曉
冬晴
冬夜
冬山
冬樹
冬池
冬海
冬曉
冬暮
冬夜
冬山
冬樹
冬水
冬水
冬田
山家冬夜
冬庭
冬植
冬禽
冬族
冬曉
冬祝
同子百草書
生神原



草堂集卷之六

冬 部

初冬

神事の書のじゆうぐれをまくのよきをなせしれ
さるのゆのゆてやてはくもハアルバのいづらやくに
あすもあらもとむ神事自らとへやきあると神事
かやまく麻のひくかのこまくハ秋とさりてももさわんも
さくとくえもをむけしめとハ風をやうとてやうと神事
さくよく小ハリとぬる袖もありてあらうのさく一秋の不持
さくあようきぬや裏書のあむれすくまば秋あさん
秋の袖ぬれつむくすすめやくも重みのうるのきゆ出因

初冬天
初冬雲
初冬风
初冬雨

本の筋うるさきとてかたよ物のさりさきをハ事に多り 奏神
しゆのさのりひはちき、みやもととあられゆくとも あら
いもあらはくさくよまかとあらは風のさうすには あら
れをとめあるのとくたはくき事のあり まこと

初冬時雨

たゞよい月よかやうきのりふるめられあむと舞 回

もまつさむらむちのこむかはくとめし一にれそくすらすま

初冬霜

さくはとむちぬをの青雲はよまのれざくとふふよけりを満

初冬本枝

あらうかわがのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

初冬寒

あらうやまとてあつまひの寒さえをひよくまつりを滿

初冬朔

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

初冬朔

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

初冬朔

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

初冬寒

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

田家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

田家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

山家初冬

おもとましのととみあはせりて歲ゆいかゑのがれ根葉

丁半時

萬松庵ノ事は本多の事と申すが、此處に記す事は宣長

ちふ波

もうちのバカの事の事の事と申すが、此處に記す事は宣長

をふ波

いは、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

涼ふ波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

高見

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

吹き波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

巖波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

葉波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

固波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

山波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

樵波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

聖波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

妙波

かのよ、いわゆる波の事と申すが、此處に記す事は宣長

園居村

おまくはのむきよきわからむよしむれむりや
せどくよもよもとさかとさかとさののよむしゆる
きみ
着する
登する
木枯のあくよもくわらわのひののくとくとく
たかす
まくこれ枝やの折やするわらのまつまつまのまく
たかす
園林雨
なまくよもくわらわのあくよもくわらわのまく
たかす
ひみく
あくよもくわらわのゆくわらわのまく
たかす
されやうやうのゆくわらわのまく
たかす
しりうのゆくわらわのまく
たかす
あくよもく
あくよもくのまくわらわのまく
たかす
園林雨
あくよもくわらわのまく
たかす
田嶋雨
いのうの田嶋のじつはちあくよもくわらわのまく
たかす
旅中雨
むくれる旅本のまく
たかす
旅宿雨
旅宿のまく
たかす
暮中雨
まく
まく

雨露湿苔壁

本の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

吹向似波

吹向の似波

木の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

春雨連燈

木の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

人形の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

人形の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

秋紅葉

木の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

秋紅葉
木の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

紅葉

木の葉うきよきよけのまく
せくくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

紅葉は梢
みゆみ枝
落葉は残
めややく

花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむすむすむすむすむすむすむすむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむすむすむすむすむすむすむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむすむすむすむすむすむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむすむすむすむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむ

紅葉は生
みゆみ枝
紅葉は落
みゆみ葉

花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむすむすむすむすむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむ

落葉は舞
みゆみ葉

花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむす
花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむ

紅葉

花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむ

落葉

花もつてあきらむすむよもぎの山の木の秋の日
紅葉はもとつむ

されてこそおひきはりとすむも風のあよりのを想ふのを 宣長

落葉の実

うちのるかゝけの秋の物を思ひよいの處の落葉の 宣長 四

落葉の実

うかへよかへ一あるまかへく木の生がりしるのをもとと おもて
而中落葉 あるよこめての様はかへりよかへてもとまみのまよちかへ 宣長

落葉文雨

おとづれをもむかへてかへりよかへて木の生がりしる たまに
落葉混雨 うなぎあせみゆかへてかへりよかへてこれの生がりしる 落葉
落葉やくじるよつておとづれをもむかへて木の生がりしる おもて
胡翁落葉 うなぎあせの落葉かへてかへりよかへてこれの生がりしる 宣長

夕落葉

うなぎのかへりよかへておとづれをもむかへてこれの生がりしる 宣長
落葉風 うなぎのかへりよかへておとづれをもむかへてこれの生がりしる 宣長

月夜落葉

おとづれよつて月のがかへりよかへてこれの生がりしる 宣長

月前落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

山落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

山中落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

家落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

隣落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

名取落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

松落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

河上落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

水と落葉

ちかくよつて月のがかへてこれの生がりしる 宣長

水生植物

岩川の水生植物は多くは水に浮かぶものもあり、ある種は根を

水生植物

あらたに水に浮かぶものもあるが、多くは水生植物である。

水生植物

水生植物は水に浮かぶものもあるが、多くは水生植物である。

松葉集

夜上高嶺

萬葉歌詠

雨落高嶺

松下高嶺

車中高嶺

高嶺高嶺

高嶺葉落

高嶺松落

高嶺のむ

松葉集

はづくものとゆてひづるに高嶺のむかづたのいとこのひだりを

高嶺

松葉集

松葉集

松葉集

霜後高嶺

雪中高嶺

月照高嶺

山家高嶺

冬九

秋霜
晴霜
霜露
露霜

霜
霜露
霜風
露風

山霜
堆霜
林霜
雪霜
草霜

霜
霜
霜
霜
霜

葉上霜

鹿赤

寒煙萬葉

山家集

用鹿

社頭

嘉善集

人松枝枯集

高木連懷

冰

冰初結

水結冰

雪冰

冰端

厚冰

湖冰

夜冰

月夜冰

石冰

河冰

冰

氷の結成

氷の水

水満池上

井水

魚樽水

葦原水

小波水

江水

津の船水

浦水

汀水

海波

潮流

空洞水

水漏れ水

水漏れ

倭主

もてまき
喜雲山雲

本松

夜木松

山家本松

椎索

椎葉角

松野

松壁喰

松壁朝

松葉角

松壁角

松壁裏

松壁裏

松壁裏

松壁裏

松壁裏

松壁裏

松壁裏

松壁裏

おのづこみ代の松へ、あくまでうれしきはんをもつて、
おまのまえせきくものいひすと、うとせきくむかのあ。因
もくきのと、これのふとじたほのよけの松のむら、宣長
まやがいさきのくわくと松かくさにわくおひくはなー、まゆ
をはくのくわくと松かくさにわくおひくはなー、まゆ
あくゆくまゆりまゆるてまゆきまゆのれのまゆくはなー、まゆ
まゆまゆまゆーあるむきるくちくまゆのまゆくはなー、まゆ

海を東
開き度
り説度
山家度
度上度
度上度
度上度
度上度
度上度
度上度
度上度

住よのあらむねはうみのうみやちとすら草
哉のものもくじてくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
いともゆき、おとの一筋、もくじてゆよおきる。おほきねばら
枝直
まちまちくじゆたるよのあらむねあらぬ。
妻冲
かのまじあらじ風のくわくよののゆよ、うきよあらひ、太滿
くわくわく枝やのれのうちあらひ、あらひすまひのくわく
満より、おもてうなづむ風のゆよ、うきよ、枝直、さすらうけおおき
寒度少度
すをも
すをも

月あらむ

はるかのくわくよ、月よ、うきよ、枝直、おおき
あらひすまひく、月よ、うきよ、あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直
あらひすまひく、月よ、うきよ、あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直
あらひすまひく、月よ、うきよ、あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直

月あらむ

はるかのくわくよ、月よ、うきよ、枝直、おおき
あらひすまひく、月よ、うきよ、あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直
あらひすまひく、月よ、うきよ、あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直
あらひすまひく、月よ、うきよ、あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直

月あらむ

あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直、おおき
あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直、おおき
あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直、おおき
あらひすまひく、月よ、うきよ、枝直、おおき

國 ふる

河風

田

弓を引く

満は

田

遠を走る

かへる

宣長

弓を射す

あらの

田

馬を走る

あらの

田

水も

金

金

水も

水

よしみのあへやにすすむとまくわくありと

日

鳥

うはてこすかあひゆるもとをくのゆがくうそ
鷺さのふのあへおとじゆくみくらはりをうて

鷺

すくようくわくのりゆせんのきのうのうきゆや
東洋

鷺

あらかとつしのとくまくさくめくのうちのう

個代

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

タ細代

たうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

夜細代

ようめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

鳥代

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

鳥代興

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

個代喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

個代喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

個代喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

喜

ねうめううくわくとくのくわくよれいにとくめく

冬ははるかに北風の吹く中で、雪の多い所には、雪原

はつねむらう雪の如きがある。これが、いわゆる「北風」である。

最初の雪の日は、必ずしも、雪が積み始められる。ある種の雪である。

最初の雪を、また、初雪と呼ぶ。これは、月日を経て、雪が積

まることを、また、初雪と呼ぶ。これが、いわゆる「初雪」である。

最初の雪を、また、初雪と呼ぶ。これは、月日を経て、雪が積

まることを、また、初雪と呼ぶ。これが、いわゆる「初雪」である。

最初の雪を、また、初雪と呼ぶ。これが、いわゆる「初雪」である。

最初の雪を、また、初雪と呼ぶ。これが、いわゆる「初雪」である。

雪量記録

雪量記録

月照雪

月の光の下に雪が輝く。月の輝きを表す。

霜映雪

月の光が雪面に反射する。月の輝きを表す。

风前雪

風が吹くと雪が舞う。風の強さを表す。

雨雪れ

雪が雨の如く舞う。雪の舞いを表す。

雪深

雪の量が多い。雪の量を表す。

積雪

雪が積もる。雪の量を表す。

色の雪

雪の色が違う。雪の色を表す。

雲間雪

雲の間から雪が見える。雪の位置を表す。

雪似白雲

雪が白雲に似ている。雪の色を表す。

雪融化

雪が溶けている。雪の状態を表す。

雪融解

雪が溶けている。雪の状態を表す。

雪融解

雪が溶けている。雪の状態を表す。

山雪

山の上に雪がある。雪の位置を表す。

山中雪

山の中にある雪。雪の位置を表す。

高山雪

高山上にある雪。雪の位置を表す。

深山雪

深い山の中にある雪。雪の位置を表す。

走る雪

雪が走る。雪の動きを表す。

疾雪

雪が疾く舞う。雪の動きを表す。

暴雪

雪が暴く舞う。雪の動きを表す。

雪端も松

雪の端には松がある。雪の位置を表す。

重きゆき十日人の雪にあらわす

重い雪を十日間も積もる。雪の量を表す。

雪滿群山

いつものとちるむせうすまくとせんやをゆすひにかがく

木に雪

くもあがねうしゆおじののでれへははせんかわののを

山に雪

かくうのきのむへうたすかはくはうそくのこゑへ

足柄に雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

豊雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

ふよ雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

雪経雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

雪見雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

一ノ角

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

樵経雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

闇雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

奥底雪滿
ちとめづのうしゆおじのののうたよ

空とよいまとととくととくととくととくととくととくととくと

奥底雪

うほくととくととくととくととくととくととくととくととくと

足柄闇雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

馬よ雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

車中雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

氷よ雪

あらしきかみかねのうしゆおじのののうたよ

川雪

みどりの川の雪をいふ。川のまろやかで、水をもまわらせる。

海鳥雪

刀狩のやまくにあつたもの。なれゆからぬとて、かくせめをあつて、あつて、

海鳥雪

夜のあはれのうて、だるさのうて、はるかく、むづくら、宣長

浦雪

うつじゆのうて、かくせめをあつて、かくせめをあつて、かくせめをあつて、かくせめを浦、宣長

陸電浦雪

かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

淡雪

あひのうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

市雪

あひのうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

市中雪

あひのうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

山家雪

あひのうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

山家雪

あひのうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

山家雪

あひのうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長のうて、かくせめを浦、宣長

周屋雪

三度雪

鹿雪

鹿上雪

鹿山鹿人

鹿毛

田家雪

越雪

禁身雪

越中雪

越後雪

越前雪

越後雪

越後雪

神社雪

古寺雪

雪中古寺

松雪

松原雪

柏樹雪深

嵐松雪

うれしのものとよきはなせうきのよしよしのくわいたる

雪堤樹

おほきくまきゆめのまほのかせうじつにほんをりん

樹改雪

月やのよるかたむけにかたむけにあめのまのちや

雪堤萬葉

わのりの夜よはゆあひかたむけにあめのまのくわ

遠村雪

豊むじみすみすみのむらむらのむらむらのむらむらのむ

ねよ雪

うききあきうきうきうきうきうきうきうきうきうきうきう

松雪院

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪堤松

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

松上雪

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪松枝

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

松枝雪

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

松雪

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

松雪

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪松本雪

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

竹雪

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

竹雪深

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪堤竹

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪深名

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪中遊興

うきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきはうきは

雪中眺望

雪舟題記

卷之三

鶯歌遠樹

寒胡志村

常中遠

卷之三

卷之三

司馬文正公集

卷之六

卷之八

卷之二

寄中客東

卷之三

卷之三

乙人博雲

卷之三

雪中戰

雪中走

鳥網捕雪

雪中火

雪中宿

雪中狩

雪中行

雪中宿

高雪迎風

雪中迷霧

高雪飛流

雪中望

雪中行

雪中宿

特等處

聖多治村

みち壁のみで一寸ばかりの通路をあててはよがくらひての處
寺社へゆく事も出来ぬかゆうと信めりつくさる處
ての風の氣のあぐやかくあたるゝ事よりは氣のあきぬる等

炭竈

そのとおりにけりといつてもあらむやうとまわるや居て大満
じよどもむかひるもと多くよきだれいふせんと

炭竈

やあつておのとおとおとおとおとおとおとおとおとおと
やあつておとおとおとおとおとおとおとおとおとおとおと
やあつておとおとおとおとおとおとおとおとおとおとおと
やあつておとおとおとおとおとおとおとおとおとおとおと

炭竈

をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ
をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ

炭竈

をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ
をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ

炭竈

をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ
をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ

炭竈

をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ
をあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほやうのをあかはほ

遠炭竈

タチの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

遠炭竈

あわせたの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

煙火

いの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

園煙火

たの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

向煙火

あわせたの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

夜煙火

うつみ木の木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

喜夜煙火

うつみ木の木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの
木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの木とよきの

音無葉

ましのやうのいふをまし、かくはすくとせむにまつてまつて大車馬

わが車のまきとあまと下の車の御先のまきよがくもあじてかみ

うねくのあめうつまきのまきよがくもあじてかみのま宣

音无葉

まくらはおもてまきのまきよがくもあじてかみのま宣

音無葉

まくらはおもてまきのまきよがくもあじてかみのま宣

音無葉

まくらはおもてまきのまきよがくもあじてかみのま宣

音無葉

まくらはおもてまきのまきよがくもあじてかみのま宣

冬至

まくらはおもてまきのまきよがくもあじてかみのま宣

音無葉

まくらはおもてまきのまきよがくもあじてかみのま宣

はのせのやくもとをかたむかたおとハヨーかがせ入たの。のね 宣美

車巻草書

やあくよし、おとくうじて一とせむせよ。よしよしと枕はゆめの。因

水道草書

ゆくみのつらぬやーのあらふがまゆの。まのよきよきよけの。喜慶

洞巻草書

ひときよかのすかう。あらのみあくよだべ。月のむす。喜 沢

萬巻草書

よあみのよむせよか。いそきのよのよみよ。わあむす。しのの。の。舟 楽

萬巻草書

あくうきく風よ。のたる潮海がたまよの。けうる月。の。の。の。潮

萬巻草書

すほからでなまく。おと母とゆく。いづかのはまく。海のあまく。毛瀬

萬巻草書

あいのよのよつねの。つて。と。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

萬巻草書

かやく。やあやく。おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

萬巻草書

さくらうさくらう。おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

萬巻草書

あく。おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

萬巻草書

とくとくとくとく。おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

萬巻草書

とくとくとくとく。おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

萬巻草書

おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

おと母とゆく。おと母とゆく。まくまく。まくまく。因

唐も惜す

うながすおもしりの金やば垣天のたぐいのものとては
まもれぬよつてのうあすのあらそくせのこわやめぬと
あれども

あられめり

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
宣長

あられめり

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も傍友

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も伴紙

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も絵

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も草書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も行書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も楷書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も絵

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も草書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も行書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も楷書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も絵

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も草書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も行書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

紫も楷書

あらゆくまんでやせとてあはれとてまくねよがくくらむ
喜海

まやうは
体はきのわたりといひあのまほつのまにあればあひゆうり

多くのいふしやのあはいのちとつまみゆくもむだ
まよひのあいのまつまくのまくわざりありあとの自

冬 天 郡

風をやかましくまくわざりえまのまくてよ入らせし也
古語車籠の朝のこゑよくつるまつまむむれりの氣

そ 星

車籠の朝のこゑよくつるまつまむむれりの氣

たゆうよハ月の邊のわたりとくもみくもすすめ

のくわくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 日

世のさくわくとまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 雲

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 雨

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 風

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 鳴

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

冬 虹

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 夕

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 雪

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 霜

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 露

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 寒

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

そ 寒

まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

冬地獄

冬山

冬嶺

冬草

冬深山

冬野

冬翠

冬里

冬門

冬曉

冬海

冬嶺

冬湖

冬水

冬船

冬水鄉

冬紅葉

冬田

冬山田

ちの秋の暮れ人めとすむかむ一枝木の二ハ送りすれども

はよれどもあらひのゆゑにうむとてすむかむの山を賣

茶車をやといれはいかよみの山のむらにむかひよむちなみ

やうとてあらまつる嵐のきのわやひやののねをわせばん

やうとてあらまつる嵐のきのわやひやののねをわせばん

あらまつる嵐のきのわやひやののねをわせばん

冬田家

春の音のあがむとてやく海をゆるのまきもつゝりぬ
山家を

山家を

しづかのあそれはまくとてやくねやむりん山房
冬用居

山家を胡

もあくよくとてやくねやむりん朝のまくわらうたう山家
山家を夜

山家を春

山のすくとてやくねやむりん夜のまくわらうたう山家
山家を深

冬警

キヘ事

冬旅

冬別

冬興

冬曉

冬書

冬詠

冬車

ものあはせきとまつたるハシ代をかくわーものもれ
 うほみのまひよ數うくとむの間をぬてはくとあまる喜
 からくゆきのあーはすやたにほれのものへうてとあま
 おとすよはよくよまくよとよ入をまくよあくまくは
 さらやくよがくよかくよかくはるのゆよきりよける。ひ
 あほひなうちくちくちくちくちくちくちくちくちく
 ますかくゆねづくくづくづくづくづくづくづくづくづく
 かくちのちくちくちくちくちくちくちくちくちく
 湯田川かーのむあいれつてつひのゆきだもととくす
 じり先をせよまくあまれてまくとくとくとくとくとく
 もとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 素そく物あらとやねねののゆののゆののゆののゆのの
 ゆをくめののゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆ
 様様のゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆの
 ゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆの

冬遠情

冬迷情

冬懷悽

冬詠

冬十月

十二月

第一のアホとよもやのまつあみまほの橋よあれるしとす
 第二のアホとよもやのまつあみまほの橋よあれるしとす
 なふをぬまよましめくわくのものがくせでくともやくす　喜慶
 せんれいしもむとくのくわくわくくわくくわくくわくく
 めくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
 わくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
 むきのほけつめがよほくわくわくわくわくわくわく
 うむがわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
 神嘗自二むよしれきのまえのまくしてむくよくよく
 いふをめくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
 ちのくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
 りよくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
 さへあよよく門よくよくよくよくよくよくよくよく
 らちまよゆよゆよゆよゆよゆよゆよゆよゆよゆよゆ
 せんり　喜神原　喜益中山　喜益中山　喜益中山

下同

刀根川

冬三十八甲

書牌

京都三条通升屋町

出雲寺文次郎

同 寺町通松原下

勝

村 治右衛門

太坂心齋橋通北久太郎町

河

内屋喜兵衛

同 安堂寺町

秋

田屋太右衛門

江戸日本橋通壹丁目

須原屋

茂兵衛

同 本町通横山町壹丁目

出雲寺

萬次郎

同 芝神明前

岡田屋

嘉

七

